

## 赤いポケットの由来



毎日楽しく赤いポケットのエプロンをかけて幼稚園に通う幼児達のあの人目を引く赤いポケットは創立者故原口友子先生の創案である。沖繩県で故原口友子先生は明治四拾二、三年頃幼稚園を創立して那覇善隣幼稚園と命名した。その後東本願寺でも幼稚園を設立、町でも幼稚園を設置したので幼稚園章の必要にせまられて善隣幼稚園は心の美しい幼児達の幼稚園であるとの心をあらわして眞鍮で五センチ平方のハート型を造り胸にぶらさげた。故原口先生は石岡の幼稚園を創立するにあたり沖繩と同じく善隣幼稚園と命名赤児の心を育てて神に導いてくれる幼稚園として園章を赤いポケットにしてエプロンにつける事を考案した。以来赤いポケットは当幼稚園の精神をあらわす園章になつて居る。



## 石岡善隣幼稚園小史

- 一、大正六年五月創立者故原口精一夫妻が現在の信用組合の建物の石岡浸礼教会に赴任して来た。
- 一、大正六年十一月三日前任地沖繩県に於て幼稚園をして居た事によつて石岡に幼稚園がなき故近所の方に切望されて子供の好きな原口友子先生は基督教の信仰の精神で近所の五人の幼児達を相手に沖繩より持ち来つたセンダンの木の机で幼稚園を開始した。
- 一、大正七年五月十六日石岡善隣幼稚園と命名認可をうけた。
- 一、大正八年参月才一回卒業式を挙行三名の卒業生を出した。
- 一、昭和四年一月浜氏の所有たりし現在の信用組合の建物を信用組合にゆづりし故浜氏より立退きを命ぜられた。
- 一、昭和四年五月原口夫妻は本部よりうけし老後の年金にて当時町会議員たりし島田徳太郎氏の努力により現在の土地を探して頂き建築を大きな荷物は馬車に小さい腰掛は各幼児が手に持つて引越し嬉々として移転して来た。
- 一、昭和拾四年五月拾八日創立者原口友子先生永眠幼稚園葬をした。
- 一、昭和拾四年六月一日故原口友子先生後任として奥山リウ先生就任。
- 一、昭和拾四年一月十五日園長原口精一先生永眠戦争中につき密葬。
- 一、昭和拾四年二月一日園長後任として現在の園長友井楨先生就任。
- 一、昭和廿二年十月母の会会長関口夫人の時幹事会の発起で増築運動が始り在園児のお母様方と卒業生の一部の方々の協力により十坪増築した。
- 一、歴代の先生故原口精一、故原口友子、荒川深美、坂部やす子、森田とみ子、大野松子、小沼たか子、奥山リウ、川崎常子、原口八重子、篠塚秀子、中村きよ子、山内あい子、小松崎幸子、平山光枝、山崎竹子、大和田静江。
- 一、歴代母の会々長故岡田ちよ夫人、山本とよ夫人、故飯田光夫人、故橋本久子夫人、幕内節子夫人、関口員代夫人、平野みつ夫人、篠塚八重子夫人、浜八重子夫人、太田緑夫人